

第72回 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 第74回 国民体育大会東京都代表選手選考競技会要項

1, 主催・主管

主催：(公財) 東京陸上競技協会 東京都高等学校体育連盟 東京都教育委員会

主管：東京都高体連陸上競技専門部

2, 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、東京都高等学校体育連盟陸上競技専門部に加盟登録している生徒であること。
- (3) 平成12年4月2日以降に生れた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校(転籍)後6ヶ月未満の者は参加を認めない。外国人留学生もこれに準ずる。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例

ア. 上記(1)・(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会資格を満たすと判断され、且つ東京都高等学校体育連盟が推薦する生徒を別途に定める規定に従い、大会参加資格を認める。

イ. 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び134条の学校に在学し、東京都高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 東京都高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・就業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、東京都高等学校体育連盟の予選会から出場を認められた者。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育の一環として日常継続的に責任ある顧問教諭のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべきこと。
 - ア. 東京都高等学校陸上競技大会日程要項を遵守し、競技種目・大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、引率責任者が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

3, 引率・監督について

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

4. 参加制限

- (1) 同一人の出場は3種目以内（リレーは除く）とする。
この中には予選会を行わない種目も含まれる。
- (2) 同一校の同一種目の出場人数は3名以内とする。予選会を行わない種目も同様とする。リレー種目については1種目につき1校1チームとする。
- (3) リレーは補欠とともに6名以内。リレー種目のメンバーに限り予選会後の都大会申し込み時に新規登録者も認める。
- (4) 外国人留学生については、1校、男子4名・女子4名以内とし、1種目1校1名出場とする。（この種目には、リレーも含まれる）但し、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて、男子は1校最大4種目、女子は1校最大4種目とする。

5. 支部予選会

- (1) 東京都を下記の6支部に分けて支部毎に予選会を実施する。（ ）は支部長
第1支部 港区 大田区 目黒区 品川区 千代田区 中央区 渋谷区 （都立桜修館高校 森島 啓）
第2支部 葛飾区 足立区 墨田区 江東区 江戸川区 文京区 台東区 荒川区 島嶼
（京華商業高校 平石 顕治）
第3支部 豊島区 練馬区 新宿区 板橋区 北区 （聖学院高校 山本 享）
第4支部 世田谷区 杉並区 中野区 （駒澤大学高校 玉森 太郎）
第5支部 武蔵野市 三鷹市 小金井市 町田市 多摩市 調布市 狛江市 稲城市 府中市 西東京市 清瀬市
東久留米市 国分寺市 国立市 日野市 （都立武蔵野北高校 安藤 秀紀）
第6支部 立川市 八王子市 小平市 東大和市 福生市 青梅市 昭島市 羽村市 あきる野市 武蔵村山市
東村山市 西多摩郡 （日体大桜華高校 小野 哲史）
- (2) 期日・場所
第1支部 4月20日(土) 大井競技場 第4支部 4月13日(土) 駒沢競技場
4月21日(日) 同 上 4月14日(日) 同 上
第2支部 } 4月28日(日) 大井競技場 第5支部 } 4月20日(土) 上柚木競技場
第3支部 } 4月29日(祝・月) 同 上 第6支部 } 4月21日(日) 同 上
- (3) 予選会の種目
(男子) 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 4×100mR 4×400mR
走高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 やり投 (14種目)
(女子) 100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 4×100mR
走高跳 走幅跳 砲丸投 円盤投 やり投 (12種目)
- (4) 競技日程
各支部で決定の上連絡する。
- (5) 競技方法
① 2019年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずる。
② 支部予選通過者は、トラック・フィールド競技共8名、リレーは8チームが本大会に出場できる。
③ 直接本大会に参加できる種目
(男子) 110mH 400mH 3000m S C 5000mW 棒高跳 ハンマー投 八種競技 (7種目)
(女子) 100mH 400mH 5000mW 4×400mR 棒高跳 三段跳 ハンマー投 七種競技 (8種目)
④ 直接本大会に参加できる種目に出場する者は下記の参加標準記録(平成30年4月1日以降に出した公認記録)に到達している者に限る。予選通過種目の申込時、本部が用意した所定の用紙に明記すること。**その際、最高記録を申告すること。記録を偽って出場したことが判明した場合、以降当該校は大会への参加を認めない。**
(男子) 110mH 17"00に到達している者。1年生に限り、昨年度中学規格(91.4cm/9.14m)で16"00(ジュニアオリンピックA規格(99.1cm/9.14m)の記録でも可)に到達した者も認める。
400mH 59"00に到達している者。
3000m S C 10'10"00に到達している者。

八種競技	平成30年4月1日以降に出した公認記録のうち、 <u>3500点</u> を越えた者、あるいは八種競技の種目中必ず1種目について、平成30年度東京都高校50傑表（高体連記録委員会編集）に入っている者。1年生においては、 <u>中学四種競技で2200点以上</u> 、もしくは八種競技での種目中必ず1種目は50傑表に相当する記録（平成30年4月1日以降に出した公認記録）を有する者。ただし、高校と同一規格の記録である事（中学規格のハードル・砲丸は除く）。
5000mW	35'00"00に到達している者。（ <u>スタート後30'00"00で競技打ち切り</u> ）
棒高跳	3m40 に到達している者。
ハンマー投	25m00に到達している者。
(女子) 100mH	17" 00に到達している者。1年生に限り、昨年度中学規格（76.2cm/8.00m）で16" 00（ジュニアオリンピックA規格（76.2cm/8.50m）の記録でも可）に到達した者も認める。
400mH	1'10"00に到達している者。
4×400m R	4'15"00に到達していること。（平成30年3月卒業のメンバーを含まない事。）
七種競技	平成30年4月1日以降に出した公認記録のうち、 <u>2500点</u> を越えた者、あるいは七種競技の種目中必ず1種目について、平成30年度東京都高校50傑表（高体連記録委員会編集）に入っている者。1年生においては、 <u>中学四種競技で2200点以上</u> 、もしくは七種競技の種目中必ず1種目は50傑表に相当する記録（平成30年4月1日以降に出した公認記録）を有する者。ただし、高校と同一規格の記録である事（中学規格のハードル・砲丸は除く）。
5000mW	40'00"00に到達している者。（ <u>スタート後35'00"00で競技打ち切り</u> ）
棒高跳	2m20に到達している者。
三段跳	10m20に到達している者。
ハンマー投	公認記録を有する事。

- ⑤ 支部予選会当日に全国レベルの大会に出場する者（参加標準記録到達者）で、支部予選会にエントリーした個人種目が各大会と重なる場合は、平成30年度東京都高校50傑（高体連陸上競技専門部記録委員会編集）のうち30傑に入っている種目のみ、また、1年生については、30傑に相当する記録（平成30年4月1日以降に出した公認記録）を有している種目のみ直接本大会への出場を認める（中学規格のハードル・砲丸は除く）。

また、各大会の出場種目がリレー（補欠を含む）の場合、その日の支部予選会にエントリーした種目は、個人及びリレー種目とも直接本大会への出場を認める。但し、出場校は、リレー部門（学校別でないもの）で30傑に入っていることを条件とする。

※東京選手権に伴うシードに関して

個人種目に限り前述⑤の記載条件を満たし且つ東京選手権での記録が支部予選のトップ8を上回ることを条件とする。但し、風力については不問とする。

いずれの大会に出場する場合も、支部予選会の申込み前に必ず、各校顧問が各支部長に連絡し、確認をすること。

- (6) 表彰
各支部で各種目8位までの入賞者には賞状を授与する。
- (7) 申込み方法 申込み書類は、東京高体連のHPよりエントリーシートをダウンロードし作成すること。
申込期日は各支部一任。
（支部予選会申し込み時に提出した書類に追記する。）

① 年度加盟登録

加盟費……………1校男女別各7,500円

個人登録費……………1名につき 1,000円 を添えて、各支部担当者に申し込むこと。

- ② 大会参加費 ※如何なる事由が発生しても、納入した参加料は返金いたしません。

個人種目……………1種目 600円

リレー種目……………1種目 1,200円

*プログラムについては、1校1部(男女参加校は2部)無料配布します。それ以上購入を希望する学校は、1部600円で販売します。

申込は所定の大会申込用紙に記入の上申込みこと。

本大会に直接出場出来る種目については、予選会申込み時に申込書に明記する。

- (8) 申込み日時・場所

各支部で決定の上連絡する。

- (9) プログラム編成会議 平成31年4月30日(火・祝) 14:00～ 東京工業大学附属科学技術高等学校

(JR山手線・京浜東北線「田町」駅下車 徒歩2分)

港区芝浦3-3-6 TEL 03-3453-2251

6. 本大会

- (1) 期日及び場所

第1日 平成31年5月11日(土) 9時30分 (雨天決行) 駒沢陸上競技場

第2日 同 上 12日(日) 9時30分 (同 上) 同 上 ※ハンマー投は

第3日 同 上 18日(土) 9時30分 (同 上) 同 上 5月11日(土) 大井陸上競技場

第4日 同 上 19日(日) 9時30分 (同 上) 同 上 にて行う。

- (2) 種 目

(男子) 100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 400mH 3000m S C 5000mW 4×100m R
4×400m R 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投
八種競技 (21種目)

(女子) 100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH 400mH 5000mW 4×100m R 4×400m R
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 七種競技 (20種目)

- (3) 競技日程

未定につき、後日連絡。

- (4) 競技方法

- ① 2019年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずる。
- ② 男女別学校対抗とする。
- ③ 得点は 1位-8点、2位-7点、……8位-1点とする。
- ④ 本大会は第74回国民体育大会東京都代表選手の第一次選考の競技会とする。
- ⑤ 男子5000mWは30分、女子5000mWは35分で競技を打ち切る。

- (5) 表 彰

- ① 総合優勝校にはカップ、6位までの入賞校には賞状を授与する。
- ② 各種目3位までの入賞者には賞状及びメダルを授与し、8位までの入賞者には賞状を授与する。
- ③ 男女各1名ずつ優秀選手を表彰する。
- ④ ハンマー投は4日目(5月19日) 11:20頃から駒沢競技場にて表彰を行う。

- (6) 申込み方法

- ① 支部予選通過者及び大会本部が認めた者は男女別に大会申込用紙の本大会欄に記入し参加費を添えて各支部長に申し込む。本大会直接種目については、基準となる種目名と最高記録を大会本部で用意した用紙に記入する。
- ② 参加料 1種目1,000円、ただし、混成競技は2,000円、リレー1,600円、プログラム代(1校1部、男女校は2部)無料 それ以上は1部 800円 ※納入した参加料は返金いたしません。

(7) 南関東大会出場資格

- ① 男女の混成競技・競歩種目、女子の棒高跳、三段跳、ハンマー投については4位までに入賞した者、それ以外の各種目においては6位までに入賞した者及び走高跳・棒高跳は6位（6名）が、関東大会(6/14(金)～17(月)：茨城)に出場することができる。

7, その他の注意事項

- (1) ナンバーカードはこの冊子の見本通り24×20cmの白布に黒色で太く明確に書き（支部ナンバーは赤色で書く）四隅をとめ背腹両方につける（ただし、跳躍競技はどちらか一方でもよい）。番号は登録番号と同じものを書くこと。
(学校番号01～09の学校は最初の「0」を記入しないこと。)
- (2) 棒高跳用ポール、投てき用器具等持参した用具は必ず検査を合格したもののみ使用を許可する。
- (3) 各学校は引率責任者が必ず引率すること。
- (4) 選手は高校生らしい態度で出場すること。
- (5) 競技会にはオートバイで来てはならない。
- (6) 大会中に出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (7) 選手は開門前に競技場内へ絶対に立入らないこと。引率責任者及び競技場の担当者の指示に従い、事故のないように注意して入場すること。
- (8) その他大会に関する情報は、東京都高体連陸上競技専門部ホームページ<http://www.tokyokotairenrikujo.jp/>で確認すること。